

介護施設などPCRの社会的検査をすすめて感染者の追跡調査を



鈴木ゆうじ



アオヤギ有希子



石井ひろかず



望月 翔平

コロナ対策

感染防止に求められること



アオヤギ有希子市議に聞く
1月26日、市議会全員協議会が開会されました。共産党八王子市議団から質問したアオヤギ有希子市議に、コロナ感染が拡大するなか、八王子市に何が求められているかを聞きました。(聞き手 市議団事務局)

●市議会協議会で質問を終えての感想をお願いします。

12月に入り高齢者施設等でのクラスターが相次いで報告され、死亡者も増えているにもかかわらず、「医療資源を圧迫する」と無症状のPCR検査をかたくなに実施をしないという市の対応に、正直、理解に苦しみます。全体的に検討や判断がされていないのではないか、と思います。

●市内の感染傾向はどのようになっていきますか？

12月からの第3波は、増加のスピードも早く、家庭内や高齢者施設のクラスターで高齢者の感染が広がり、介護施設内での高齢者の待機が発生するなど、非常に深刻な状況が続いています。重症者のベッドも逼迫している状況です。保育施設、学校などでも、数カ所報告されていますが、クラスターにはなっていません。しかし、無症状の感染者がいる以上、その感染者が最初の感染者とは限りませんので、幅広く実施すべきです。

●高齢者施設からPCR検査の積極的な実施を求める陳情が出され、署名も集めているそうです。PCR検査の現状はどのようになっていますか？

検査会社のキャパシティは十分にあることを確認していますが、市の検査の現状は、症状が出た場合に医師の指示による保険適用の検査と、感染者が出たところでの行政検査にとどまっています。厚労省は、マスクをしても行政検査ができ、また高齢者施設では無症状でも施設全体で検査をできるとしていますから、感染者が出た場合には幅広く行政検査を行うべきです。署名を集めた高齢者施設の方は、大学の先生に要請して、PCR検査を研究費用

で行うことになり、定期的な検査を受けているそうです。その経験から市内の高齢者施設で幅広く行うよう求めておられます。こうした事例に学ぶべきです。

●感染者の増加に伴って、市内の医療機関も受け入れが困難になっている状況とも聞いていますが？

市は、市内の高齢者施設などに、DNAR（心肺蘇生をしない）感染者が施設内で待機になっている、として施設側にその準備を求めた文章を出していますが、医師がない介護施設では馴染みのない制度で、DNARの人は医療を受けられないかのような誤解を招くものでした。実際は待機になった場合でも対処療法は受けられるようになったと聞いています。しかし依然として、重症の患者を受け入れられない状況が一時的に発生していると思われます。また、DNARの指示は、コロナ患者を受け入れる医療機関で行うと確認していますが、全事業者に対し、利用者に確認を求めている、すべての利用者が感染するかのようになっているのは不適切です。検査を幅広く行い、陽性者をいち早く把握し、保護隔離することが重症化リスクのある人たちにうつさない、確実な方策だと考えます。

●感染拡大を抑止するために党市議団が求めていることを教えてください。

①保健所とは別の検査会社を通して定期的な高齢者施設等の社会的検査の実施、②保育施設等での行政検査を幅広く行うこと、③罰則ではなく感染者の状況を把握するトレーサー（接触者追跡者）の増員、④軽症者の療養ホテルや自宅待機者への支援（食料、パルスオキシメーターの配布など）⑤医療機関への財政支援、⑥中小企業、学生への支援をもう一度行う等を求めています。みなさんの声をお寄せください。

新型コロナ感染拡大の現状と対応について、市議会協議会が開会

● 共産党市議団の主な質疑と市側の回答

質問事項	市側の回答
<p>● PCR検査—社会的検査の実施を</p> <p>この間、急激な感染者の拡大、死亡者も多くなっている。市の財政調整基金などを活用し、高齢者施設、障害者施設などへの定期的な社会的検査を実施すべきではないか</p>	<p>【高齢者施設・障害者施設】 PCR検査体制や無症状の陽性者が多数出た場合の対応など、地域の医療に大きな負担をかけることになるため、慎重に対応する必要がある。現時点では社会的検査を行う考えはなく、今後の感染拡大の動向を見据え判断する。</p> <p>【保育施設など】 全ての園児に対して検査を実施する考えはない。体調に不安のある保育士には、かかりつけ医などを通じて検査機関に案内できるようにしている。</p> <p>【学校】 義務教育段階の児童・生徒に対して検査を実施する考えはない。</p>
<p>● 自宅待機者への支援が必要だが、パルスオキシメーターの貸出しは行っているか。</p>	<p>1月15日に東京都から本市に70個のパルスオキシメーターが保健所に支給されており、高齢者や呼吸器疾患をもつ自宅療養者などを対象に活用していく。</p>
<p>● 自宅待機者への食糧支援など生活支援の実施状況はどうなっているか。</p>	<p>東京都のフォローアップセンター事業が1月27日から開始され、本市でも自宅療養者の健康観察や配食サービス、症状悪化時の相談対応などが受けられる。</p>
<p>● 感染者増えれば追跡調査が膨大になる。本市は、どの程度まで追跡調査ができているのか。コンタクトトレーサ(接触者追跡者)は増やしたのか、また今後の増員予定はあるのか。</p>	<p>発生届出があった患者については、全員聞き取り調査を実施している。患者数の増減に応じて、応援体制の強化を図る。</p>

● コロナ対策で予算化した支援事業の状況について

- 学生支援特別給付金(2020年6月補正予算)
予算額：8000万円 ※2021年1月4日時点での状況
①申請件数：635件
②給付対象件数：570件 執行予定額：5700万円
③執行率：71.25%
- コロナ患者を受け入れる医療機関への支援給付金
執行額：3.3億円 執行率：79.8%
- 発熱外来センター
執行額：0.3億円 執行率：39.8%
- 軽症者ホテルの事務費
執行率：0.1億円 応援人数 138人
- 保育士への給付金(保育園、学童)
児童福祉施設等職員、計4,600人に給付
- 中小企業支援(2020年4月、6月、9月補正予算)
▽プレミアム付商品券事業 約42億円の商品券を発行
▽テナント家賃緊急支援
第1回 申請2,493件 交付金 約3億4200万円
第2回 申請3,250件 交付金 約4億7700万円 ※1/19現在
▽感染拡大防止対策支援補助金
申請件数 1,093件 交付金 約1億7300万円 ※1/15現在



新型コロナ感染症対策—緊急要望書を提出

1月25日、党市議団は、石森市長あてに「新型コロナ感染症対策に関する緊急要望書」(第5次)を提出しました。木内副市長、総合経営部長、福祉部長が対応しました。

アオヤギ有希子市議は、感染リスクの高い高齢者施設や障害者施設での定期的なPCR検査の体制整備をすすめ、感染者の追跡調査および、コンタクトトレーサ(接触者追跡者)の増員を求めました。また、新型コロナ感染防止対策として、2月24日から開会の第1回定例会で補正予算の編成を求めました。

木内副市長は、感染防止の不安を取り除くうえで正しい情報提供をすすめていく、また感染状況に応じて対応するが、検査体制を行うことで地域の医療現場に負担をかけることにならないため、慎重に対応したいという主旨の回答がありました。

● 新型コロナ感染症対策に関する緊急要望書(第5次)を提出する党市議団

コロナでお困りごとなどご相談ください